



ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

# 瀬戸小だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/setogaya/>

令和8年8月27日

横浜市立瀬戸ヶ谷小学校

8・9月号



## 「遊びは学び、学びは遊び」～夢中になれる学校生活へ～

校長 宮台 純子

夏休みが明け、家庭や地域で思い思いの時間を過ごしてきた子どもたちが学校に帰ってきます。

この夏休み中、本校の職員と仲よし幼稚園の職員との合同研修会を行ったり、霞台保育園を見学させていただいたり、幼稚園・保育園・小学校との連携について考える機会をもちました。仲よし幼稚園とは昨年度より「横浜市幼保小連携推進地区事業」に協働で取り組んでいます。今回の研修会で、同じ事業に取り組んでいる富士見台小学校の田村校長先生から、「園でも学校でも育てたい子どもの姿は同じ。園でキラキラ・ワクワクしていた子どもたちが、入学後に不安でシュンとしてしまわないよう、『学校でも園と同じようにしていいんだ』という安心感を与えることが大切である」という貴重なご示唆をいただきました。

休み時間になると、暑さや寒さに負けず校庭を元気にかけ回る子、折り紙やお絵描き、読書に夢中になる子など、子どもたちの笑顔があふれています。授業においても、同じように夢中になれる楽しさを味わってほしいと考えています。遊びの楽しさは様々です。時には思い通りにいかずに悩んだり、友だちと意見がぶつかったりすることもあります。しかし、それらを自分たちで乗り越えたときの達成感もまた、大きな楽しさです。夏休み明けの朝会で、子どもたちに横浜高校の織田投手が敗戦後のインタビューで語った「本当にすごく楽しかったです」という言葉を伝えようと思っています。子どもたちは、夢中になって遊ぶ中で「自分で考える力」や「望ましい人間関係」など、実に多くのことを学んでいます。まさに「遊びは学び」なのです。

瀬戸ヶ谷小学校では、さらに「学びは遊び」と感じられるよう、子どもたちの「やってみたい!」「どうして?」という気持ちを大切にした授業づくりに挑戦していきます。AIドリルなどのツールも活用しながら、多様な仲間がいる学校だからこそできる「人との関わりの中での学び」を大切にしていきます。

その取組の一つとして、9月30日に校内で「全校オリエンテーリング」を実施します。6年生がリーダーとなり、たてわりの「なかよし班」で協力しながら挑戦する活動です。本校の学校教育目標である「ふれ合う 認め合う 共に学ぶ」を実現するうえで、欠かすことのできない大切な取組と考えています。

夏休み明けの学校生活でも子どもたちの「キラキラ・ワクワク」を大切にし、主体的に学び楽しむ姿を引き出せるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。今月も皆様からの温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。